

益田市議会より ますだ

広報から「市議会だより」を抜き取られると読みやすくなります。



初夏を感じさせる紫陽花

次回定例会の予定【案】は

5月27日(金)～6月13日(月)です。

なお、正式決定は5月下旬の議会運営委員会で行います。議会事務局までお問い合わせ下さい。(☎31-0490)

本会議場の様子を
インターネットでご覧いただけます!!



一般質問の様子の録画中継を行っています。
好きな時間に聴きたいところを見ることができます!
益田市HP内 (<http://www.city.masuda.lg.jp/>)
「益田市議会」よりご覧下さい。

第482回
3月定例市議会

3月定例市議会は、3月1日から25日までの25日間開催されました。

会期中に審議した案件は、予算議案27件、条例議案9件、人事議案3件、一般議案12件、報告2件、意見書1件、決議1件、その他請願4件、陳情1件でした。
また、市政全般にわたって、19名の議員が一般質問を行いました。

第482回 定例会

こんなことが決まりました

平成23年度の益田市一般会計予算・各特別会計予算と
平成22年度一般会計・各特別会計の補正予算を議決

3月議会では、新年度予算の議決が行われました。一般会計予算の審議については、議長を除く全議員による予算審査特別委員会で3月11日・14日・15日の3日間にわたり審査いたしました。一般会計の総額は、243億6,700万円で原案のとおり可決しました。

施設貸付事業特別会計予算など14の特別会計と水道事業会計は、所管の常任委員会で審査され、いずれも可決されました。22年度の一般会計・特別会計の補正予算は事業確定等の精算が主な内容です。

平成23年度 一般会計予算の主な内容 (千円)

学力向上連携推進事業費	8,177
小児用肺炎球菌ワクチン接種事業費	24,958
貸工場建設事業費	100,130
公的病院支援事業費	122,873
美都温泉産直市場建設事業	6,300
地域力アップ応援隊員事業費	16,022

運営の改革等に関する事項について調査、審議を行なう諮問機関として行財政審議会の設置

条例の一部改正

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定

益田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定

益田市水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定

一般職の任期付職員のうち水道事業職員に関する規定の整理

益田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

出産一時金を39万円に引き上げた暫定措置の恒久化

第5次益田市総合振興計画策定

地方自治法第2条第4項に規定する総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想の策定

益田市立道川児童館
益田市社会福祉協議会
益田市立ひまわりの家
NPO法人きずな
益田市立障害者就労支援施設
株式会社きのこハウス
益田市立開発地営農研修センター
西いわみ農業協同組合

益田市国民健康保険診療施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

美都診療所東仙道出張診療所開所のための所要の改正

益田市立市民憩の家
益田市シルバー人材センター
益田市社会福祉協議会
センター
益田市立益田市総合福祉センター
益田市国民健康保険診療施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

指定管理者の指定

益田市立益田市総合福祉センター

条例制定

国民健康保険診療施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

条例制定

益田市立道川児童館
益田市社会福祉協議会
益田市立ひまわりの家
NPO法人きずな
益田市立障害者就労支援施設
株式会社きのこハウス
益田市立開発地営農研修センター
西いわみ農業協同組合

益田市立道川児童館
益田市社会福祉協議会
益田市立ひまわりの家
NPO法人きずな
益田市立障害者就労支援施設
株式会社きのこハウス
益田市立開発地営農研修センター
西いわみ農業協同組合

益田市議会の議決すべき事件を定める条例制定

定住自立圏構想推進要綱の規定に基づく条例制定

益田市行財政改革審議会
条例制定

行財政制度及び行財政

工事請負契約の変更

益田市国民健康保険税賦課方式を改正する条例制定

益田市国民健康保険税賦課方式を3方式に移行させるための激変緩和措置

更

固定資産評価審査委員会
委員

人権擁護委員候補者
白石 範子 氏

みなさんからの請願・陳情審議結果

3月定例市議会受理分

請願番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
1	港湾経営の民営化に反対し、港湾労働秩序の回復を求める意見書の提出について	社会民主党益田総支部 代表 福原 宗男	継続審査	挙手多数
	本件についてはさらに調査検討を要するため、継続審査と決した。			
2	年金引き下げ（案）の撤回、無年金者・低年金者への生活支援金の緊急支給と年金受給資格期間の短縮を求める意見書の提出について	全日本年金者組合島根県本部 執行委員長 浅野 史朗 外1名	不採択	挙手多数
	<p>年金制度は、国の重要な課題の一つであり、持続可能な制度として現在検討がされている。</p> <p>年金の引き下げ、引き上げは全国消費者物価指数の変動によるスライド制で年金額が定められている。また、公的年金制度は、社会保険方式を基本としているため、保険料の負担に応じた給付が受けられるものであり、納付が困難な方には免除制度の活用で負担の均衡を図りながら、無年金者の解消が図られることとなっている。</p> <p>このような現状から、現行制度のもとに行われることはやむを得ないと考える。よって、本件については不採択と決した。</p>			
3	高齢者等住宅リフォーム支援事業の継続について	日本共産党益田市委員会 副委員長 岡崎 久	採 択	挙手全員

陳情番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
1	長沢2号トンネル（仮称）建設工事に伴い発生する砒素汚染土砂の処分方法について	高津川漁業協同組合 代表理事組合長 喜島 仁 外12名	不採択	挙手多数
	当工事の発注者である県は、漁業関係者・地元関係者と砒素汚染土砂の処分方法を含めた事前説明・事前協議を行うことを前提で工事に着手するとしているため、本件については不採択と決した。			

継続となっていた請願の審議結果

請願番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
6	国保税引き上げにつながる都道府県単位の広域化に反対する意見書の提出について	新日本婦人の会 益田支部 支部長 岩本 由美子	不採択	挙手多数
	<p>国民健康保険は、市町村単位の運営であるがゆえに財政基盤も弱く、不安定な収支状況のもとに保険制度が運営されている。</p> <p>このような現状から、保険制度を維持するためには、都道府県単位での保険料の平準化、広域化による財政の安定化を図る國の方針はやむを得ないと考える。よって、本件については不採択と決した。</p>			

3月議会の審議結果

議案番号	議 決 案 件	議決結果	議決態様
(市長提出議案)			
報第1号	専決処分の報告について	報告	
報第2号	専決処分の報告について	報告	
議第5号	平成23年度益田市一般会計予算	可 決	起立多数
議第6号	平成23年度益田市施設貸付事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第7号	平成23年度益田市介護保険特別会計予算	可 決	起立全員
議第8号	平成23年度益田市国民健康保険事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第9号	平成23年度益田市後期高齢者医療特別会計予算	可 決	起立多数
議第10号	平成23年度益田市簡易水道事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第11号	平成23年度益田市国営土地改良事業特別会計予算	可 決	起立多数
議第12号	平成23年度益田市市有林事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第13号	平成23年度益田市造林受託事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第14号	平成23年度益田市匹見財産区特別会計予算	可 決	起立全員
議第15号	平成23年度益田市益田駅前地区市街地再開発事業特別会計予算	可 決	起立多数
議第16号	平成23年度益田市農業集落排水事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第17号	平成23年度益田市公共下水道事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第18号	平成23年度益田市駐車場事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第19号	平成23年度益田市土地区画整理事業特別会計予算	可 決	起立全員
議第20号	平成23年度益田市水道事業会計予算	可 決	起立全員
議第21号	平成22年度益田市一般会計補正予算第6号	可 決	挙手全員
議第22号	平成22年度益田市介護保険特別会計補正予算第3号	可 決	挙手全員
議第23号	平成22年度益田市国民健康保険事業特別会計補正予算第3号	可 決	挙手全員
議第24号	平成22年度益田市後期高齢者医療特別会計補正予算第3号	可 決	挙手全員
議第25号	平成22年度益田市簡易水道事業特別会計補正予算第2号	可 決	挙手全員
議第26号	平成22年度益田市市有林事業特別会計補正予算第3号	可 決	挙手全員
議第27号	平成22年度益田市造林受託事業特別会計補正予算第3号	可 決	挙手全員
議第28号	平成22年度益田市匹見財産区特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第29号	平成22年度益田市益田駅前地区市街地再開発事業特別会計補正予算第2号	可 決	挙手全員
議第30号	平成22年度益田市公共下水道事業特別会計補正予算第4号	可 決	挙手全員
議第31号	平成22年度益田市土地区画整理事業特別会計補正予算第4号	可 決	挙手全員
議第32号	益田市議会の議決すべき事件を定める条例制定について	可 決	挙手多数
議第33号	益田市行財政改革審議会条例制定について	可 決	挙手全員
議第34号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手多数
議第35号	益田市水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手多数
議第36号	益田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第37号	益田市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第38号	益田市国民健康保険診療施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第39号	益田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第40号	工事請負契約の変更について	可 決	挙手全員

議案番号	議 決 案 件	議決結果	議決態様
議第41号	工事請負契約の変更について	可 決	挙手全員
議第42号	工事請負契約の変更について	可 決	挙手全員
議第43号	工事請負契約の変更について	可 決	挙手全員
議第44号	工事請負契約の変更について	可 決	挙手全員
議第45号	工事請負契約の変更について	可 決	挙手全員
議第46号	益田市立総合福祉センターの指定管理者の指定について	可 決	挙手全員
議第47号	益田市立児童館の指定管理者の指定について	可 決	挙手全員
議第48号	益田市立授産施設の指定管理者の指定について	可 決	挙手全員
議第49号	益田市立障害者就労支援施設の指定管理者の指定について	可 決	挙手全員
議第50号	益田市立多目的集会所の指定管理者の指定について	可 決	挙手全員
議第51号	第5次益田市総合振興計画策定について	可 決	挙手全員
議第53号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	起立全員
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし	起立全員
(議員提出議案)			
議第52号	議会運営委員会委員の選任について	指 名	
議第54号	益田市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	否 決	挙手少数
議第55号	子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を求める意見書について	可 決	挙手全員
決議第1号	悪性新生物「がん」の早期発見により健康増進に取り組むための決議について	可 決	挙手全員

今期議会で可決し関係機関に提出した意見書

- 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を求める意見書

今期議会で可決した決議

がん検査・健診を受けましょう！

3月議会において、悪性新生物「がん」の早期発見により健康増進に取り組むための決議をいたしました。特定検査や各種の健診を積極的に受診し、早期発見・早期治療による健康の保持と受診率の向上に努めてまいります。市民の皆様も自らの健康を守るために検査や健診を受けましょう。

義援金のお礼

3月11日に起きました東日本大震災で、ご逝去された方々にお悔やみを申し上げますと共に、被災された方々にお見舞いを申し上げます。そして一日も早い復興を願っております。益田市議会は、復興支援のための街頭募金を3月19日市内3ヶ所で行いました。市民の皆様の真心あふれる励ましの言葉とご支援をいただき、670,025円の義援金をいただきました。この義援金に議員からの義援金も合わせ1,280,025円を全国市議会議長会を通じて日本赤十字社に送らさせていただきました。皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

益田市議会



問 平成23年度予算運営は、財政健全化計画に基づき、本年度予算と平成23年度の予算策定へ、いかに反映させていくのか。

答 大変厳しい中、投資的経費については縮減を図り、市債発行額も抑制することで将来負担額を

平成23年度の市政運営



平成23年度
益田市一般会計予算書



創明会
寺井 良徳 議員

代表質問

一般質問

市政のここが知りたい

市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が要約し掲載しています。なお詳細については会議録をご覧下さい。

問 平成23年度運営は、財政健全化計画に基づき、本年度予算と平成23年度の予算策定へ、いかに反映させていくのか。

答 大変厳しい中、投資的経費については縮減を図り、市債発行額も抑制することで将来負担額を

問 抑えたい。
一般会計歳入の3割以上を依存している普通交付税は、平成27年度より合併算定替えの特例措置分が削減となり、平成32年度以降措置されない。大幅な歳入の減額となる。

問 市職員250人体制について、推進検討チームの設置は具体的にどう進められるのか。

答 昨年末設置した。副市長、各部長他担当者が集まり現在検討している。

問 副市長の空席について、市長の任期中に3人も交代することは歴代市長にはなかった。新年度を迎えるに当たり対応は。

答 現在調整中である。

問 旧益田地区は、中世の歴史文化の薫るゾーンが数多く残る地域であり、環境整備の重要な施策として促進を図る。

問 平成21、22年度の当初予算は右肩上がりの増額予算であったが、今年度は前年比0・45%減額の綱渡り緊縮型予算である。3回目の当初予算案の提出にあたっての心境は。

答 政策課題に対応した新規事業以外については基本的に着手することが厳しく、投資的経費を抑制せざるを得ないという

問 歴史を活かしたまちづくり復元に向け、旧益田地区は三宅御土居・七尾城・益田川の3つが一体となつた取り組みの中、はどうか。

答 80%を上回る取り組みとする。

問 山陰高速道路は、全線開通して初めて高速道と言える。特に益田三隅間15・2kmと益田萩間はどうか。

答 益田市周辺の山陰自動車道整備を一日も早く開通に結びつけたい。

問 山陰高速道路は、全線開通して初めて高速道と言える。特に益田三隅間15・2kmと益田萩間はどうか。

答 益田市周辺の山陰自動車道整備を一日も早く開通に結びつけたい。



伸政会
石田 米治 議員

苦渋の選択を強いられた予算編成であった。

問 今後の財政再建の基本的な考え方は。

答 平成26年までに財政再建計画目標を達成し、市民に負担の増を極力抑えるためにも、財政再建、財政改革を断行していくたい。

問 予算編成過程において、特に課題・問題点はなかつたか。あるとしたら今後どのように考えるか。

答 事業の精査を早めに行う必要があった。平成24年度予算は、平成23年度の夏から秋に翌年度の実施予定事業の精査を行い、予算編成に向けて準備をする。

問 平成26年度を目標に財政健全化の取り組みを行いう場合、今後優先する主要事業はどのようなものが想定されるか。

答 貸工場の建設事業、学校給食センターの建設、益田赤十字病院の建設に連する事業、中島染羽

線の改良事業に伴う周辺整備、学校耐震化事業等の教育、福祉、経済を中心とした事業が大きな柱となる。

問 昭和・戦争記念館（仮称）の設置の検討を始めるとあるが、物議を醸す可能性があるが、具体的な構想は。

答 本市の方々がどのように戦争の時代を生きてきたかということを、後世に伝える必要があるため検討を始める。

問 平成23年度以降の効率的な行政運営と財政の健全化を図るため、行政改革大綱及び改革推進計画はいつごろ策定されるのか。

答 来年度1年かけて検討し、それを踏まえて大綱、計画をつくり、審議会で検討していただければと考えている。

問 適正人員の考え方として、歳入面からすると自主財源収入に対する人件費比率、歳出面は公債

費支出等を除いたサービス支出に占める人件費比率、また、行政が行う事務事業の量等から適正値を算出することが必要と考えるが基本的な考えは。

答 法律的に難しい側面もあつたと思う。政治主導であればその必要もあると思う。

問 総合的に勘案して、一億二千四百万円を組んでもらうが、その必要性を説明する。

答 今年の超過勤務は、どのように精査をされたか。民に説明する。

問 事業の進行をしっかりと管理して職員を動かさないと大変難しいと思うがどうか。

答 部長を中心に管理を徹底する。

問 業務進行をきちんと把握し、住民や現場への説明が必要と思うが。

答 基本的に各課から見た見込みで今回予算編成をした。課長には責任がある。各課長のマネジメント、責任が問われる。

問 超過勤務時間の抑制を掲げ、今後補正をしないとされた。超過勤務の削減は望ましいが、現実の労働環境がそうなつてゐるか疑問。市長が就任されてから30名の人数が減った。その部分をだれかがやらなければならぬが、いかがか。

児童・生徒の健康管理

に出てくれば、すごく学力が伸びると話された。特に夜食が問題。受験シーズンや期末など、子どもが一生懸命勉強する時に夜食が出されるが、それが朝になつて結構残つていて、朝食を食べずに学校へ行ってしまう。最近の食物の中には非常に油脂の多いものがあり、肝機能に影響が出る生徒が多々あるという。市には肝機能のデータはあるか。

答 身長、体重、結核、心電図の項目について検査実施している。肝機能の検査は実施しておらず、データはない。市独自で生活習慣病の予防として、貧血とコレステロールの検査を実施している。

問 独自で検査ができるのであれば、ぜひ肝機能をつけていただきたい。塩分と脂肪によつて肝機能がだんだん悪くなると、子どもはキレて校内暴力につながる。何らかの肝



市民クラブ
松原 義生 議員

施政方針

問 超過勤務時間の抑制を掲げ、今後補正をしないとされた。超過勤務の削減は望ましいが、現実の労働環境がそうなつてゐるか疑問。市長が就任されてから30名の人数が減った。その部分をだれかがやらなければならぬが、いかがか。

問 香川短期大学の北川先生が、基礎体力としてきちんと食事をして学校

機能の異常のある子どもが2割から3割はいると
いう。学校と家庭だけではなく、医者の協力もな
いとできない。問題提起をするがどうか。

答 肝機能検査は、新規であり、費用がかかるが、肝機能や他にも追加すべきことあるのか研究の上考えたい。

問 高津川の水量の低下は様々な環境の悪化を招くが、この要因として竹の繁殖が考えられる。竹の伐採を公共事業としてできないか。

答 今後の検討課題として考える。

高津川の総合開発



清流会 久保 正典 議員

協議し、地域と連携して、国の事業を積極的に活用していきたいと考えている。

定・実施に必要な事項を協議し、地域と連携して、国の事業を積極的に活用していきたいと考えている。

は、利用者、介護従事者の皆さん安心して暮らせるよう、ある程度の期間について検討したい。

答 このような施設が高齢者福祉の拠点であることは承知している。指摘された指定期間についても、利用者、介護従事者との皆様にはご迷惑をかけたが、迂回側溝の取り付けを順次行っており、3月中には全て終了する。

問 高津川の水量の低下は様々な環境の悪化を招くが、この要因として竹の繁殖が考えられる。竹の伐採を公共事業としてできないか。

答 今後の検討課題として考える。

高齢者福祉



答 この事業は、計画どおり4月1日の事業開始に間に合うのか。

問 現在進められているCATV事業は、計画どおり4月1日の事業開始に間に合うのか。

答 この事業の交付金は平成21年度事業として交付決定がされており、これ以上の延長は認められない。このため、事業完了に向けて追い込み体制に入つており、3月末までに工事受注業者も必ず終了するよう取り組んでいる。

CATV事業の進捗状況と今後の見通し

答 このような施設が高齢者福祉の拠点であることは承知している。指摘された指定期間についても、利用者、介護従事者との皆様にはご迷惑をかけたが、迂回側溝の取り付けを順次行っており、3月中には全て終了する。

問 高津川の水量の低下は様々な環境の悪化を招くが、この要因として竹の繁殖が考えられる。竹の伐採を公共事業としてできないか。

答 今後の検討課題として考える。

問 現在進められているCATV事業は、計画どおり4月1日の事業開始に間に合うのか。

答 この事業の交付金は平成21年度事業として交付決定がされており、これ以上の延長は認められない。このため、事業完了に向けて追い込み体制に入つており、3月末までに工事受注業者も必ず終了するよう取り組んでいる。

答 このような施設が高齢者福祉の拠点であることは承知している。指摘された指定期間についても、利用者、介護従事者との皆様にはご迷惑をかけたが、迂回側溝の取り付けを順次行っており、3月中には全て終了する。

問 高津川の水量の低下は様々な環境の悪化を招くが、この要因として竹の繁殖が考えられる。竹の伐採を公共事業としてできないか。

答 今後の検討課題として考える。

施政方針



拓進会 濵谷 勝 議員

電柱を立てたのは、道路法に抵触しているのではないか。

答 道路側溝に電柱を立てたという新聞報道があり、皆様にはご迷惑を受けたが、迂回側溝の取り付けを順次行っており、3月中には全て終了する。

問 高津川の水量の低下は様々な環境の悪化を招くが、この要因として竹の繁殖が考えられる。竹の伐採を公共事業としてできないか。

答 今後の検討課題として考える。

問 間に合わなかつた場合の対応はどうするのか。

答 必ず事業完了させなければならないと思ってい

電柱を立てたのは、道路法に抵触しているのではないか。

答 電柱を立てたのは、道路法に抵触しているのではないか。

答 財政再建計画では、平成26年度までの数値目標を示しており、その仕組みでは250人体制が必要と申し上げている。市民の方々がどういう負担をし、どういうサービスが欲しいかということにかかっている。

問 高津川の水量の低下は様々な環境の悪化を招くが、この要因として竹の繁殖が考えられる。竹の伐採を公共事業としてできないか。

答 今後の検討課題として考える。

問 間に合わなかつた場合の対応はどうするのか。

答 必ず事業完了させなければならないと思ってい

電柱を立てたのは、道路法に抵触しているのではないか。

答 電柱を立てたのは、道路法に抵触しているのではないか。

答 財政再建計画では、平成26年度までの数値目標を示しており、その仕組みでは250人体制が必要と申し上げている。市民の方々がどういう負担をし、どういうサービスが欲しいかということにかかっている。

い。今、我慢すれば先はどうなるのか。目標と指標を示すことで検証できるが市長の考え方を問う。

問 私の調査では、近年の市債発行高、公共工事の右肩下がりが当市の卸

い。今、我慢すれば先はどうなるのか。目標と指標を示すことで検証できるが市長の考え方を問う。

問 私の調査では、近年の市債発行高、公共工事の右肩下がりが当市の卸

い。今、我慢すれば先はどうなるのか。目標と指標を示すことで検証できるが市長の考え方を問う。

問 私の調査では、近年の市債発行高、公共工事の右肩下がりが当市の卸

い。今、我慢すれば先はどうなるのか。目標と指標を示すことで検証できるが市長の考え方を問う。

問 私の調査では、近年の市債発行高、公共工事の右肩下がりが当市の卸

売、小売の売上高の右肩下がりのみならず、両事業所の減少（雇用減）のつながりを示している。
市の調査ではいかがか。
答 現在、市債発行と、この地域経済の様々な数値というものの相関関係は把握していない。

問 新年度の一般会計予算歳入の法人市民税は28・72%増を見込み、また、益田管内本年1月の月間有効求人倍率も若干好転してきた。当市の予算規模は前年度比0・45%減としたことに比べ、県内他市の多くは逆に膨らませて、経済回復ムードを後押ししていると思われるがいかがか。

答 法人税の関係と求人倍率についての情報は持っていない。

問 当市は、約34kmもの海岸線漁場を持つ。激甚災害に匹敵する昭和58年7月豪雨災害で、多量の土砂が排出され、藻場が壊され漁獲が一変した。

漁業再生に積極的な取り組みが必要と思うがいかがか。

答 どう高付加価値をつけるかが大切で、今後提案をいただきたい。

問 福祉、高齢、障害、年金、虐待等に1カ所で対応できる総合窓口を有する自治体もある。当市でもできるはずで、来庁者を各窓口に振り向ける現手法を変えるべきだと思うがどうか。

答 現状でも1カ所で職員が対応するケースもあるが、サービスの向上は重要で、第四次行財政改革審議会でも総合窓口設置が検討されている。実現に向けて頑張る。



平成23年度の市政運営

問 職員に「感性」「感謝」「感動」を求めているが、感性を高めるような職場環境ができ、職員の信頼関係により、風通しの良い組織となっているか。

答 労使関係、250人体制の構築、財政再建等、市民の方をしつかり向いて、全庁一丸となつていただける組織をつくっていきたい。少なくとも私が職員と接している中では、信頼関係は徐々に良くなっている。

問 行財政改革の一一番最初に「労使関係の健全化」と書かれているのが、非常に残念で恥ずかしいことだと思う。今までど



緑風会
野村 良二 議員

こに問題があつて、労使関係が置き去りにされたきたのか。

答 議会制民主主義に係わる部分もある。「職務免除」等の問題は、条例に則つて運用されていないような問題もあつたが、現在は改善されている。

残念ながら歴代の執行部、議会とともに指摘しなかつた。また、管理職の命令がなかなか通らなかつたことも原因の一つと思つてている。

答 慶尚北道の2つの小学校と市役所、教育庁を視察した。3点参考になつた。1点目は子ども達の道徳、学習意欲の高さ。2点目は学校施設が大変充実しており、図工室・理科室などの特別教室は、児童が使いやすいように配慮されていた。3点目は英語教育に大変力を入れていることだつた。

また、学校関係者との意見交換の中では、家庭での教育を支援する親学、学校では放課後の補習を徹底的にやるということも聞いた。本市も学校教育の充実は、教育方針の柱の一つに掲げている。

学校教育

問 教育長が2月に韓国学校を視察されたが、本市の小中学校教育に最も参考となるような内容があつたのか。

答 慶尚北道の2つの小学校と市役所、教育庁を視察した。3点参考になつた。1点目は子ども達の道徳、学習意欲の高さ。2点目は学校施設が大変充実しており、図工室・理科室などの特別教室は、児童が使いやすいように配慮されていた。3点目は英語教育に大変力を入れていることだつた。

また、学校関係者との意見交換の中では、家庭での教育を支援する親学、学校では放課後の補習を徹底的にやるということも聞いた。本市も学校教育の充実は、教育方針の柱の一つに掲げている。



答 地元の意見調整はしつかりやりながら、事業の可否判断である費用面と効果面で、特にJRとの事前協議をしながら進めていく。

また、学校関係者との意見交換の中では、家庭での教育を支援する親学、学校では放課後の補習を徹底的にやるということも聞いた。本市も学校教育の充実は、教育方針の柱の一つに掲げている。



岡田 正隆 議員

一流の田舎まち実現の進捗状況

問 市長は就任以来、本市の将来像は「益田市を一流の田舎まちにしたい」と述べている。3つの側面である人間的、経済的、視覚的の進捗状況について問う。

答 人間的側面として、昨年4月より教育改革推進室を発足させ、学力レベルの向上に努め、県下8市の最下位水準から脱した。小学生がふるさとの良さを体験できる活動を進め、小中学生の石見美術館の入館無料化に取り組んだ。

経済的側面は、昨年設置した産業支援センターによる新商品開発。産業支援セ

ンターのコーディネーターへの販路拡大に取り組んできた。高校やJJA西いわみとの新商品開発販路拡大支援事業を活用した益田翔陽による新商品開発、県外への販路拡大に取り組んできた。

視覚的側面では、昨年度から赤瓦の町並み整備事業や、今年度新設した高津川流域産木材活用事業に取り組んできた。2月には第1回まちづくり景観賞の選定や、景観シンポジウムを開催し、市民啓発を行つてきた。

観光振興

問 観光客誘致の取り組みと推移について問う。

答 今年度、集客交流戦略会議を設置した。観光資源の掘り起こし、推進体制の見直しを行い、計画を具体的につくる。観光客の推移は、グランツワガオープンして、平成18年

度は117万人、平成21年度は89万人、今後の目標は110万人としている。

交流活動の取り組み



ふれあいサマーキャンプ

問 市役所の体制

答 合併前、合併後の職員数は、



佐々木 恵二 議員

事業に取り組んでいる。わさびやれんこんの収穫と料理体験、巨木めぐり、農家民泊、そば打ち、縄文体験、ブルーベリーの収穫、川遊び等の子ども体験ツアーレを開催している。

問 國際・国内交流について問う。

答 公民連携を図つて、特産品等の販売を行つてある。川崎市とは、ふれあいサマーキャンプの受け入れを続けている。平成20年からはスポーツ交流も始めた。川崎市民祭り、空港マラソン等連携を図り続けていく。

問 職員数減によつて、充分な行政サービスができるのか。

答 公民連携を図つて、新しい自治体経営の仕組みを作り、民の力が發揮される中で、公共サービスを提供していきたいと考えている。

問 今後、美都・匹見支所の対応はどう考えるか。

答 支所組織のあり方にについては、独立した自治体が合併をしており歴史もあるので、今後地域の皆様や市の内部で、10年間の段階を踏まえ議論を進めていきたい。

問 両支所の今後のインフラ整備についての技術職員配置対応はどうか。

答 平成24年度予算からは早い段階でしつかり見極め、優先順位を踏まえ、人の配置をしていきたい。

益田市	421名	美都町	51名
匹見町	51名	計	523名
匹見支所	31名	計	405名
美都支所	28名		
匹見支所	31名	計	464名

問 公共事業において、
定住促進により税額を増
やすことを検討していく。
答 歳入については、滞
納額の縮減や市有財産の
売却。長期的には、企業
誘致や地域経済の活性化、
業についても、
望していきたい。

浜田市管内、益田市
管内の国・県合わせ
た事業費はいくらか。
答 西日本建設業保
証の公表資料で、平
成21年度、浜田地域
二百四十七億五千百
万円、益田地域七十
七億百万円。平成22
年度、浜田地域二百
三十一億九千万円、
益田地域六十五億百
万円。



問 歳入確保については、
税収を伸ばすために、地
域経済の活力を伸ばし、
歳入確保を具体的に目標
設定しながら対応すべき
と考えるがいかがか。
答 歳入については、滞
納額の縮減や市有財産の
売却。長期的には、企業
誘致や地域経済の活性化、
定住促進により税額を増
やすことを検討していく。

問 職員減による今後の窓口業務は
財政再建計画

問 インフラ整備による地域活性化が、本市の税収増にも繋がるが、国・県事業等合わせた事業費がこれほど違うことについて市としての対応はどうか。

答 比較において人口、面積など様々な違い、背景があるので、一概に言えないと考える。その上で、本市としてはこれまで、就任以来、積極的に国交省その他関係機関、島根県も含め要望活動を行っている。今後も必要な事業については積極的に要望していく。

問 施政方針

久城 恵治 議員

答 まずは、「半分にする」という発想から物事を考へることが重要。

問 経済の見通しが立たない中で、行財政改革に走ると、「負のスパイラル」にあつという間に陥るとと思う。行財政改革は、目標・計画をつくり肅々と行うべきだと思うがどうか。

問 市長は平成23年度施政方針と総合振興計画等、長期計画との整合性を持っているのか。関連について聞く。

答 各種の計画等と当然整合性を持ち、同じ方向を向いている。

問 本市のこれから10年を描いた「総合振興計画」について、説明が不足しているのでは。

答 総合振興計画については、今後改めて、市民の皆様に周知できるよう努めることとする。

問 「250人体制」について、事業見直しや官から民への仕組みづくり、内部体制について、内部協議を行った結果、出て



問 政策課題への対応

久城 恵治 議員

きた数値なのか。職員半減に伴う、数値ありきではないか。

問 地域情報通信基盤整備事業に基づく工事で、万が一不良工事があつた場合の補償についてはどうか。また市民の方に対する丁寧な対応を望む。

答 この工事が原因で起きたものについては、2年間の瑕疵担保期間がある。工事終了後も市としてアフターケアを丁寧に行う。

問 今後、ケーブルを利用した「遠隔医療」「高齢者の見守りシステム」等の地域課題に取り組む事業展開を考えているか。

答 全国に様々な事例もあるので、実現に向けて調査し、取り組んでいく。

問 「学校給食センターの建設整備事業」について、ハード面の議論ばかりでどういう給食を提供していくのか、運営面・

問 地域情報通信基盤整備事業に基づく工事で、万が一不良工事があつた場合の補償についてはどうか。また市民の方に対する丁寧な対応を望む。

答 この工事が原因で起きたものについては、2年間の瑕疵担保期間がある。工事終了後も市としてアフターケアを丁寧に行う。

問 今後、ケーブルを利用した「遠隔医療」「高齢者の見守りシステム」等の地域課題に取り組む事業展開を考えているか。

答 全国に様々な事例もあるので、実現に向けて調査し、取り組んでいく。

問 「学校給食センターの建設整備事業」について、ハード面の議論ばかりでどういう給食を提供していくのか、運営面・

答 基本的には、施政方
答 言える事業は何か。
答 創意工夫し、枠配分によ
る予算編成を実施したと
あるが、これが目玉だと
言える事業は何か。

平成23年度予算編成と 財政再建



井藤 章雄 議員



給食センター整備

ソフト面の議論がなされていない。給食に対する「ビジョン」を打ち出す必要はないか。
答 平成23年度は、透明性を確保し、議論していく。

針の中でも示した小中学
校教育、産業振興と雇用
確保、医療の充実、中山
間地域の人材育成の4つ
の分野である。

がら収納対策委員会等の
中で検討したい。

知やコンビニ収納等も検
討したい。



弘中 英樹 議員

問 限られた財源の中で
創意工夫し、枠配分によ
る予算編成を実施したと
あるが、これが目玉だと
言える事業は何か。

問 財政再建について、
無駄を省くことは一つの
方法である。財源をいか
に確保するかは収納率を
上げる以外にないが、具
体的な取り組みはどうか。

答 全府的な応援態勢を含め、
市と県との連携を取りな
がら、これが目玉だと
言える事業は何か。

主な事業	
小中学校教育の充実	
学校再編対策	68万円
生徒指導主事派遣事業	910万円
ふるさと体験事業	80万円
学力向上・連携推進事業	818万円
学校施設耐震化事業	2億2,962万円
医療の確保・充実	
公的病院支援事業	1億2,287万円
成人保健対策事業	6,828万円
小児用肺炎球菌ワクチン接種事業	2,496万円
産業の振興、雇用の確保	
貸工場建設事業	1億 13万円
営業本部経費	1,039万円
高津川流域総合产业化推進事業	784万円
中山間地域の人材育成	
地域力アップ応援隊員事業	1,602万円
集落支援・戦略プラン推進事業	220万円

※各表中の金額については、1万円未満四捨五入

益田市の平成23年度予算

一般会計
**243億
6,700万円**

問 財政再建について、
無駄を省くことは一つの
方法である。財源をいか
に確保するかは収納率を
上げる以外にないが、具
体的な取り組みはどうか。

答 収納率向上に向けて
全府的な応援態勢を含め、
市と県との連携を取りな
がら、これが目玉だと
言える事業は何か。

答 健康ますだ市21推進
協議会を中心に、地区振
興センター単位で活動を
強化し、受診率の向上、
医療費の抑制に取り組ん
ていく。

問 受診率向上のための
計画は、具体的にどのよ
うになつているのか。

答 健康ますだ市21推進
協議会を中心とした地区
振興センター単位で活動を
強化し、受診率の向上、
医療費の抑制に取り組ん

答 様々な政策課題があ
る中で、未来の本市に責任
を持つため、予算を厳しく
査定せざるを得なかつた
点が苦しかった。

答 住みよい町を築くた
めの予算編成に努力した
ことや、苦心した点はあ
るか。

答 住みよい町を築くた
めの予算編成に努力した
ことや、苦心した点はあ
るか。

問 受診率が目標を下回
るとペナルティが科せら
れると聞いたがどうか。

答 後期高齢者医療制度
との関係で、ペナルティ
については流動的である。

答 後期高齢者医療制度
との関係で、ペナルティ
については流動的である。

問 集落対策について、
現状と課題をどう捉えて
いるか。

答 課題はたくさんある
が、しっかりと把握して一
つ一つ解決していく。

問 機構改革で医療対策
室を設置したが、現在の
事務作業は。

答 医療を守るということ、
と、育てるということ、
招くということ、学ぶと
いうことの4点である。

問 本市における特定健
康診査受診率が目標を下
回っているがどうか。

答 全市をあげた健康づ
くりのための健康ますだ
市21推進協議会を新たに
立ち上げ、特定健康診査
の受診率の向上と医療費
の適正化に努める。

問 受診率が目標を下回
るとペナルティが科せら
れると聞いたがどうか。

答 一番重要なことは、
どうやって地域が自立す
るか、どうやって地域で
稼ぐ仕組みをつくるかと
いうことだ。

問 集落対策について、
現状と課題をどう捉えて
いるか。

答 課題はたくさんある
が、しっかりと把握して一
つ一つ解決していく。

問 機構改革で医療対策
室を設置したが、現在の
事務作業は。

答 医療を守るということ、
と、育てるということ、
招くということ、学ぶと
いうことの4点である。



問 集落事業としては、路線廃止代替バスの運行などの交通対策や道路整備といった対策が考えられるが、市としての対策はどうか。

答 地区振興センターが中心となり、3M事業や地域づくり支援事業に対する補助をしている。

問 地域力アップ応援隊員事業費について問う。

答 地区振興センターに応援隊員を配置し、各地域の課題について協議している。来年度は5名を予定している。

問 地域づくり戦略プランについて問う。

答 匹見地域において、総合支所とJA、社会福祉協議会、美濃商工会、郵便局などで連絡協議会を立ち上げて、全戸に聞き取り調査を行い、地域の課題解決や施策の展開をしている。

教育振興基本計画

答 放課後子どもプランに基づく事業に取り組んでいる。

問 新学習指導要領の改訂により児童生徒の立場に立った取り組み、教育相談体制の整備をしたらどうか。

答 学校と警察、児童相談所、医療機関等諸機関及び子育てあんしん相談室、人権センター、生活福祉課等の関係各課と連携している。

問 道徳教育の充実強化を図るとあるが、自然体験活動、集団宿泊体験、職場体験活動、奉仕活動、文化芸術体験について問う。

答 体験活動については、問題発見や問題解決力、人間関係などの能力を育成するとともに、豊かな人間性や価値観を形成する。知・徳・体のバランスを重視した生きる力を身につけさせることにつながると考える。

問 放課後や週末等に子ども達の安全、安心の拠点を設けてはどうか。

答 時期を見て判断する。事業仕分けで要改善が26事業あった。改善される事業を問う。

答 5事業ある。広報の発行回数を月一回に。補助金、負担金、委託金の見直し等である。平成23年度予算で反映させた。

問 行財政改革で、議会は議長の公用車を廃止した。公用車の運転業務を改善されるべきと考えるが。

答 運転手4人で車両8台、出勤日数227日、ひと月約120kmの走行である。他市では職員が公用車を運転している。

問 人づくり、子育て、教育に取り組む決意を問う。

答 米百俵の精神で主要施策の一番目に人づくりと次世代育成を挙げた。人財大

学を中心に取り組む。

問 益田版事業仕分けで不要と判定された公衆浴場、勤労青少年ホーム事業を継続とした理由を問う。

答 やめるには代替措置が必要だが、平成23年度内では無理と判断した。

問 施政方針の中で、産みの苦しみを乗り越えると示されたが、決断すべきであると考えるがどうか。



大久保五郎 議員

施政方針

問 教育環境の改善が務である。校庭の芝生化、緑のカーテン施策は、

答 平成24年度モデル校事業は11校で実施し、自

主的な取り組みを促す。

問 運動公園内市民プ

ル跡地の活用策としてスケートボーデ場を提案す

る。子ども、若者が楽しむ施設が市には少ない。

問 市民からも意見がある。具体案として検討していく。

問 競馬場跡地周辺の整備、トータル的なデザインを示すべきと考えるが。

答 現在の経済情勢等、状況を見ながら、今後判断をしていきたい。

問 学力向上対策を問う。

答 学校評価システム、

教育協働化事業、教育審議会、学力向上連携推進



早期整備・売却が望まれる競馬場跡地

問 日本の高校生は、自分に自信がない人が多いと報じられたが所感は。

答 今後の教育を推進する上で課題と認識している。



河野 利文 議員

くりたい。

業務や事業が計画の中でもどんな目的の下に位置付けられているのかを意識しながら、仕事を進めていくような仕組みをつくりたい。



益田市定住パンフレット

問 職員一人一人が、最上位計画である総合振興計画に対する認識を高めるための方策をどう考えているか。

答 全ての事業の、総合振興計画における位置付けを明らかにし、自らの業務や事業が計画の中でもどんな目的の下に位置付けられているのかを意識しながら、仕事を進めていくような仕組みをつくりたい。

問 地区振興センターへの職員配置の方針について、今後どう考えているか。

答 前提としては、同じように引き揚げるというのもある。少なくとも平成24年度から反映できるようになることが公平性の観点からも必要である。

問 地区振興センターへの職員配置の方針について、今後どう考えているか。

答 前提としては、同じように引き揚げるというのもある。少なくとも平成24年度から反映できるようになることが公平性の観点からも必要である。

問 定住対策の現在の体制はどうか。

答 専任のまだ暮らしだをしている。

生涯学習基本計画と市民活動の支援体制

答 空き家活用、古民家調査事業、U I ターン定住対策支援事業などを通じて、空き家バンクへの登録件数を増やしていく。

問 市民活動支援センターの設置場所については、検討したか。

答 E A G A への移転なども検討したが、最終的に詰め切れなかつた。引き続き検討していく。



永見 おしえ 議員

問 遅れていた生涯学習基本計画の策定は。

答 第5次総合振興計画との整合性を図ることとしている。生涯学習社会の構築をまちづくりの基底に置き、総合振興計画を基に策定作業を進めていく。

問 地域では公民館と地区振興センターが同居しております。その管轄は教育委員会の市民学習課と市長部局の地域振興課と別々となっている。生涯学習基本計画を総合振興計画の基底として進めていくためには、それぞれの課の連携がしつかりと連携については現在

問 センターでの支援や市民活動の支援のあり方についてはどう考えているのか。

答 平成23年度から専任の嘱託職員を配置し、情報収集や発信、研修の実施といった支援をしていく。場所も含めて支援体制もこれから詰めていく。

問 民間でできることは民間でと言われているが、具体的には。

答 就任前から民間委託は進んでいる。新年度からは、民間の皆さんからも提案をいただき、任せることも必要になると考える。仕組みもつくりたい。

施政方針

問 ふるさと体験プログラムは、どのようなもののが出来上がったか。

答 プログラムには見学や体験先の情報を載せ、

問 平成37年には、定年退職者数を見込んでいくと概ねその数になる。今の法制度のもとでは最短と判断している。

問 安全・安心のまちづくりの中で、里帰り出産

教員の負担軽減と体験活動の充実を図る。

の現状は。

答 里帰り出産の問題は、大変重要であるが、現状を維持するのが精一杯である。産科医の方に、益田に居たいと思つてもらえる町をつくるしかないという現状を共有したい。

問 子宮頸がんワクチン接種の現状と、正しい知識や情報の啓発を問う。

答 接種事業を開始したところ、ワクチンの供給が間に合わない状況。保健所・個人への通知・学校への情報提供・医療機関へのポスターの掲示など、詳しい情報と対応策を知りたい。

問 高齢者施策でポイント制度によるボランティア活動が全国で広がっている。益田市老人保健福祉計画の中で検討している。生きがいや、やりがい等につながると思う。成果や課題を聞き、次の計画策定の中で検討を図つていきたい。

教育方針

問 益田市教育協働化推進事業の具体的な取り組みは。

答 学校と地域との連携を図るための地域コーディネーターを公民館に配置し、地域の方々と一緒に置して学校や教員を支援していただく。

問 遊休地の利用で一校一農業の取り組みを地域連携で行い、本市の新しい農業の流れをつくる機会を与えることができないか。

答 農業体験は、働く人の農業にかける思いや願いに気づかせ、ふるさとへの愛着を持たせ、勤労觀を育てるなどさまざまな教育的意義がある。今まで以上に学校の取り組みを指導、支援して行きたい。

問 学校図書館を活用するのに、調べ学習などで使う本の量や内容がそろっているのか調査したか。

答 お薦め本や学校図書館に整備する本について研修をして、知識を深め、本の購入を進めている。

8000冊以上の本の購入を計画している。

答 先に建柱をしてからというケースがあつたので、直ちに迂回側溝を整備するよう指導した。

問 道路管理者である市は工事内容について管理監督責任がある。この工事にあたり、改善命令を出したのか。

答 2月25日に指示した。

問 道路法に触れるような工事を一部進めてきたことは問題ではないか。

答 そういう問題はある。

しかし、3月までに終了しなければならない喫緊の課題である。やむを得ず建設部の方と協議しながら対応してきた。

問 平成22年度の当初予

算に、学校給食センター整備事業費の実施設計の予算が計上されていた。しかし、実施設計の前に基本設計を行わなければ

ならないとして供用開始が平成25年と一年延期となつた。基本設計を行う

理由を、厨房機器の選定や熱源方式の決定のためについてコンクリート固定するよりも前に、基本設計をいたほうがよいと判断した。また、それにより事業費の削減も図られると判断した。



側溝に建てられた電柱



安達 美津子 議員

市長の政治姿勢

問 構想日本に委託して行われた事業仕分けは問題点が多かった。今後、事業仕分けについてどのような取り組みを考えているか。

問 地域情報通信基盤整

備事業の電柱設置の工事で、側溝に電柱を立てる個所が58カ所発生したが、先に迂回側溝を整備しない状態で工事が進められたのではないか。

このことは当初からわかつていた問題ではないか。

答 色々な意見を尊重するため、一気に実施設計にいってコンクリート固定するよりも前に、基本設計をいたほうがよいと判断した。また、それにより事業費の削減も図られると判断した。

高齢者等住宅リフォーム助成



問 施政方針では多くのプロジェクトを述べられ実現に向けて

答 平成20年度より高齢者の方が自宅でより快適に暮らすことと、経済対策を目的に、家庭のバリアフリー化等の改修工事費用の一部を補助する事業として始められた。3年を経過し、見直されることとなつた。今後の取り組みの考えは。

答 1件当たりの工事金額は平均六十八万円を超えて、経済波及効果もあり、成果があつたと評価している。しかし、多額な財政支出を伴うので、平成23年度以降はリフォーム事業には取り組まないと判断している。



山根 哲朗 議員

健全な労使関係

問 一日も早く本当に話し合える労使の関係をつくって欲しい。まずは聞いて、その聞いたことに對してきちんと考え方を言うべきだと思う。

答 労使というのは市長と組合ではない。使用者の私も含めた執行部、管理職も含まれている。対話自体は必要だと思つてゐる。これまでも職員からメールをもらえば、重要な問題においては職員を呼んで話を聞いている。

問 市長の言われる6次産業化へ向けて、その前提条件となるものが、近年かなり各地域で生活の知恵などを中心としたものや新しいものがどんどん生まれている。決して止まつてほしくないと思っている。今いま、市に支援をして欲しいといふ願いがそれぞれの地域にはあると思う。まだまだ知恵は引き出せると思うし品物の改良もできると

答 短期的にお金になるものだけを支援すればいいとは思つていらない。今年から調査検討に入らぬかなるものもある。企画課を中心に軸が通つてきたので、より調整ができるように環境を整えたい。

6次産業化へ向けて

問 市長の言われる6次産業化へ向けて、その前提条件となるものが、近年かなり各地域で生活の知恵などを中心としたものや新しいものがどんどん生まれている。決して止まつてほしくないと思っている。今いま、市に支援をして欲しいといふ願いがそれぞれの地域にはあると思う。まだまだ知恵は引き出せると思うし品物の改良もできると

問 清月寮のスプリンクラー等の老朽化が進み、現在の施設基準を満たしていないということでお、早期に方針を示したいと



長谷川 昇 議員

養護老人ホーム清月寮の建て替え

問 清月寮のスプリンクラー等の老朽化が進み、現在の施設基準を満たしていないということでお、早期に方針を示したいと

答 現在の養護老人ホーム清月寮の指定管理が平成26年3月までになつてるので、それまでは現在のままでいきたい。平成26年4月には、新たな施設が出来上がつていて、建てる形で考えていく。

問 近い将来建て替えとは、何年頃に建て替えなのか。

答 現在の養護老人ホーム清月寮の指定管理が平成26年3月までになつてるので、それまでは現在のままでいきたい。平成26年4月には、新たな施設が出来上がりつつある。

答 スプリンクラーについては、平成23年度中の取り付けが義務付けられている。近い将来建て替えを視野に入れているので、代替えとして屋内消火栓6基の設置を予定している。

問 その後どのように進んでいるのか。

答 スプリンクラーについては、平成23年度中の取り付けが義務付けられている。近い将来建て替えを視野に入れているので、代替えとして屋内消火栓6基の設置を予定している。



早期立て替えが望まれる養護老人ホーム清月療

問 地域力アップ応援隊
員事業を5地区で使つて
いるが、使い方がわから
ない。

答 地域公共交通活性化
支援事業は、自
治会単位の事業
と思うが内容を
問う。

問 地域の交通
確保対策として
自治会が主体で
運営し、自治会
内の輸送をする。
市が車両を購入
して無償貸与を
する。実際の運
営は自治会で取
り組まれる事業
である。

問 市役所改革を断行す
る中で職員の士気が低下
しては何もならない。職
員250人体制検討推進

答 意識を変えるという
のは難しいもので、仕組
みを変えることが大事で
あると思う。

問 人事評価制度の目的
は、職員の持っている能力
を仕事に引き出すことで
もある。そのためには評
価者研修が重要であるが。
評価シートについて
も、業績評価、意識・姿
勢評価、能力評価などし
つかり管理職の研修も目
合わせして実施していく。

答 評価制度は、平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

問 平成23年度から実施
を予定しており、初めに
評価者である管理職の研
修会を行い、管理職の人事
評価を実施していきたい。

答 幹部職員の早期退職
が後を絶たない状況にあ
る中で、人事評価制度が
上手く機能するのか。

問 人事評価制度の目的
は、職員の持っている能力
を仕事に引き出すことで
もある。そのためには評
価者研修が重要であるが。
評価シートについて
も、業績評価、意識・姿
勢評価、能力評価などし
つかり管理職の研修も目
合わせして実施していく。

答 評価制度は、平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

問 平成23年度から実施
を予定しており、初めに
評価者である管理職の研
修会を行い、管理職の人事
評価を実施していきたい。

答 幹部職員の早期退職
が後を絶たない状況にあ
る中で、人事評価制度が
上手く機能するのか。

問 緑故債等の民間資金活用
は、直前の取引状況や金利
の動向等を勘案しながら、
利率の設定を行っていく。

答 当然誰かがその場に
立つわけだから問題ない。
それをやるのが管理職だ
と思う。

問 人事評価制度の目的
は、職員の持っている能力
を仕事に引き出すことで
もある。そのためには評
価者研修が重要であるが。
評価シートについて
も、業績評価、意識・姿
勢評価、能力評価などし
つかり管理職の研修も目
合わせして実施していく。

答 評価制度は、平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

問 平成23年度から実施
を予定しており、初めに
評価者である管理職の研
修会を行い、管理職の人事
評価を実施していきたい。

答 幹部職員の早期退職
が後を絶たない状況にあ
る中で、人事評価制度が
上手く機能するのか。

答 検討の中では、PFI
手法は検討していない。
益田市内で、既に老人福
祉施設を運営している社
会福祉法人を対象に考え
ており、市外の参入も今
は検討していない。

答 国の集落支援制度で
今まで十分に使いこなせ
なかつた。地区振興セン
ター会議とか、センター
長会議で説明している。

問 地域課題解決のため、住
民自治機能の充実・強化
を図る事業で、来年も使
う地区が出てくるので、
実例を示し、使つていた
だくよう周知を図りたい。

答 今後は労使関係の情
報を市民にすべて公開す
ると言われるが、具体的
には何を示しているのか。
答 基本的に個人のプラ
イバシーや行政運営上相
手側にかかる事柄以外
は、公開すべきと考えて
いる。庁舎内の職員・組
合員向け掲示板の許可、
また給与に関しては課長
補佐級までは自動的に昇
進して、課長補佐級の給
料がもらえる慣行につい
ても、市民の目線で見直
していくことが大事であ
ると思う。

答 意識を変えるという
のは難しいもので、仕組
みを変えることが大事で
あると思う。

問 市の職員のあるべき
姿は、民間企業と同じよ
うなコスト意識、緊張感
を持って職務に取り組む
職員であると述べている。
人事評価制度は平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

答 評価シートについて
も、業績評価、意識・姿
勢評価、能力評価などし
つかり管理職の研修も目
合わせして実施していく。

答 評価制度は、平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

問 平成23年度から実施
を予定しており、初めに
評価者である管理職の研
修会を行い、管理職の人事
評価を実施していきたい。

答 幹部職員の早期退職
が後を絶たない状況にあ
る中で、人事評価制度が
上手く機能するのか。

答 検討の中では、PFI
手法は検討していない。
益田市内で、既に老人福
祉施設を運営している社
会福祉法人を対象に考え
ており、市外の参入も今
は検討していない。

答 国の集落支援制度で
今まで十分に使いこなせ
なかつた。地区振興セン
ター会議とか、センター
長会議で説明している。

問 地域課題解決のため、住
民自治機能の充実・強化
を図る事業で、来年も使
う地区が出てくるので、
実例を示し、使つていた
だくよう周知を図りたい。

答 今後は労使関係の情
報を市民にすべて公開す
ると言われるが、具体的
には何を示しているのか。
答 基本的に個人のプラ
イバシーや行政運営上相
手側にかかる事柄以外
は、公開すべきと考えて
いる。庁舎内の職員・組
合員向け掲示板の許可、
また給与に関しては課長
補佐級までは自動的に昇
進して、課長補佐級の給
料がもらえる慣行につい
ても、市民の目線で見直
していくことが大事であ
ると思う。

答 意識を変えるという
のは難しいもので、仕組
みを変えることが大事で
あると思う。

問 市の職員のあるべき
姿は、民間企業と同じよ
うなコスト意識、緊張感
を持って職務に取り組む
職員であると述べている。
人事評価制度は平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

答 評価シートについて
も、業績評価、意識・姿
勢評価、能力評価などし
つかり管理職の研修も目
合わせして実施していく。

答 評価制度は、平成23年
度より実施すると言わ
れているが。

問 平成23年度から実施
を予定しており、初めに
評価者である管理職の研
修会を行い、管理職の人事
評価を実施していきたい。

答 幹部職員の早期退職
が後を絶たない状況にあ
る中で、人事評価制度が
上手く機能するのか。



中島 守 議員



「弁当の日」で子どもたちに笑顔を

問 西南中学校「弁当の日」の取り組みは、西南中の給食残渣が多いという指摘がされ、子どもたちに笑顔がない。何とか生徒の感性を揺さぶることはできないかと、食生活改善推進員の皆さんに相談し協力をいただき、公民館・管理栄養士・保健師と連携しながら、健康ますだ21などと共に

問 西南中学校「弁当の日」の取り組みは、西南中の給食残渣が多いという指摘がされ、子どもたちに笑顔がない。何とか生徒の感性を揺さぶることはできないかと、食生活改善推進員の皆さんに相談し協力をいただき、公民館・管理栄養士・保健師と連携しながら、健康ますだ21などと共に

教育方針



福原 宗男 議員

に、本格的な教育を始められ、年間6回の「弁当の日」が設定されている。

教育の活動が広がってき、地域に交流の輪ができる、子どもも元気になるし、同時に地域の皆さんも元気になる。これが、全市的な取り組みにならないか。

答 画一的な取り組みではない。ほうがその学校の課題を解決していく道であると思う。こういう活動はすばらしいと認めながら、各学校で研鑽したい、情報を交流しながら進めいくのが良いと思う。

施政方針

問 昭和・戦争記念館の設置が施政方針に書かれているが、1995年7月に証言集「語り継ぐ 明日の子らへアジア太平洋戦争と戦後とともに生きた人の証言」を平和をすすめる益田市民の会が作成した。市長は見たことがあるか。

答 この打ち合わせに際し、瀧谷市長の巻頭言は読んだ。

問 戦争は絶対いやだというのが証言されたみなさんの共通の願いである。

当時の渋谷市長は巻頭言にこう記している。『特攻隊に所属し、昭和20年8月9日洋上訓練を終えて帰還の途中、空一面に閃光が走り、島が鳴り、山が動き、言葉では表現することができない恐ろしさを痛感した。そして、海軍病院に次から次へと被爆者が運ばれてきた。8月9日が来るたびに思い出される。

本市としても「非核平和・都市宣言」都市として取り組みを推進していく。そして、戦争ほど人間として愚かなことはない。平和憲法を守り、市政に反映させていく。若い皆さんに世界から戦争の起る原因を取り除く努力をする人に育つていただくよう祈念してやまない』この渋谷市長のような考え方なのかと思う。

答 私のもともとの発想は、いろんな資料を収集している方がおられる。それがいろんなところにあって、これはもつたいないというのが原点である。

* * * * *



◆◆編集委員◆◆	
委員長	中島 守
副委員長	永見 おしえ
委員	河野 利文
委員	安達 美津子
委員	松原 義生

定例議会中の3月11日に東日本大震災が発生しました。ご逝去された方々にお悔やみを申し上げますと共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。今も多くの住民の方が不安で自由な生活をされていることに心が痛みます。そうした中で日本だけでなく世界中から支援と真心からの励ましが送られたことに感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

本市も、昭和58年7月豪雨災害を経験しています。その時も励ましと支援をいただきました。この度の大震災も皆さんが自分のこととして受け止められています。自分にできる事をしていくことが被災地への応援になっていると思います。一日も早い復興を願っています。

そして、様々な災害に対する危機管理や耐震化等、官民共に取り組んでいくことが大事です。防災のまちづくりについて話し合い、住民への周知を早急にしていく時であると感じています。地域で支え合い協働のまちづくりを目指してまいりましょう。

永見 おしえ